

アカゲザル防除通信

(2201号)



アカゲザル等防除連絡会
千葉県自然保護課
(平成22年3月1日発行)

☆最新ニュース

！今年度の捕獲数が昨年度を上回りました。

本年度の外来種緊急特別対策事業（アカゲザル）では、5基の大型檻を使用して、アカゲザルの捕獲に取り組んできましたが、2月15日現在の本年度の捕獲数が279頭となり、昨年度の年間捕獲数（247頭）を上回りました。

本年度は、昨年6月に144頭を一度に捕獲することができましたが、その後、夏から秋にかけては、サルが檻の餌をあまり食わず、捕獲は止まっていました。

しかしながら、12月に入り寒くなり、餌にミカンが使えるようになると、檻の中の餌を食べようになり、徐々に捕獲ができるようになりました。

1月には各所に設置した大型檻にサルが入り、一つの檻で一度に60頭以上を捕獲することもできました。

これから3月から4月にかけても、引き続き捕獲が期待できますので、地域の皆様には、御協力をお願いいたします。



大型檻で捕獲された大きなオスザル（15才位）

！アカゲザル防除実施計画策定検討会が開催されました。

去る12月22日（火）千葉市の千葉県教育会館において、第5回特定外来生物（アカゲザル）防除実施計画策定検討会が、会長の武蔵大学の丸橋教授を始めとし、学識経験者、県猟友会及び館山市、南房総市の担当課長様など20名が出席し開催されました。

この検討会では、県の担当者から、平成20年度の防除事業の実施結果と平成21年度の実施状況の説明があり、この中で、群れの行動域を把握している「ミヤコ群」「オタキ群」については、順調に捕獲が進んでいる（紙面最後の表を参照してください。）一方、生息域東側の不明集団への電波発信機の装着ができておらず、地域の協力や検討会の助言を受けながら全力を挙げて不明集団の把握に取り組んでいきたいという話がありました。

また、委員である京都大学霊長類研究所川本准教授から、この地域で捕獲されたアカゲザルの遺伝子及び形態的分析について説明があり、この中で、同准教授が、この地域で捕獲されたアカゲザルの遺伝子（オスが持っているY染色体）を分析した結果、4種類のタイプに分けることができたことにより、館山・白浜地域以外で見つかったアカゲザル（群れを離れたオスザル）が、どの地域から移動していったかなど、今後、アカゲザルの動きを予測する道具として利用できる可能性があるということです。

（この検討会の議事録や配布資料については、県庁ホームページの自然保護課アカゲザル検討会のページからご覧いただくことができます。）

http://www.pref.chiba.lg.jp/syozoku/e_shizen/gairaisyu/akagezaru/kentoukai_gaiyo.html

！「アカゲザルの目撃情報に関するアンケート」に御協力ありがとうございました。

アカゲザルの目撃情報に関するアンケートについては、地元市を通じて、不明集団が行動していると思われる旧白浜町東部から館山市神余、畑地区、旧千倉町南部にお住まいの皆さまにお願いしていましたが、皆さまの御協力のおかげで、350通を回収することができました。

この内、サルの集団などの目撃情報が75件あり、今後の不明集団の捕獲に大変役立つ、貴重な情報を集めることができました。

来年度は、不明集団の生息状況等を把握するため、今回アンケートをお願いした地域を中心に調査を実施することとしており、引続き情報の提供など御協力をいただきますようお願いいたします。



表のオスザルと一緒に大型檻で捕獲されたメスザル
乳首が伸びているのは、コドモを生んだことがあるサルであることを示しています。



☆これまでの捕獲の状況

平成22年2月15日現在

年 度	捕獲数	内 訳		備 考
		殺処分	発信機装着	
平成17年度	3	2	1	
平成18年度	24	11	13	大型檻1基建設
平成19年度	128	112	16	大型檻2基建設
平成20年度	247	235	12	大型檻1基建設
平成21年度	279	267	12	
計	681	627	54	

※発信機を装着したサルは、避妊手術を施して放獣しています。

このチラシに関する問合せ先

千葉県環境生活部自然保護課（鳥獣対策室） 043（223）2058

南房総県民センター安房事務所（地域環境室） 0470（22）7111

アカゲザルの目撃情報、被害状況についての連絡先

館山市にお住まいの方：館山市農水産課 0470（22）3397

南房総市にお住まいの方：南房総市農林水産課 0470（33）1071

アカゲザルの餌付けのため、出荷できない果実や野菜等がありましたら提供をお願いします。